

5-2. シーリング材

■ シーリング材選定のポイント

⚠ 注意：使用箇所に適したシーリング材を選択する

- シーリング材は、JIS A 5758に適合したものの中から建物の挙動、目地の種類やメンテナンス等を考慮の上、選定してください。
- 異種材質のシーリング材を使う場合、材料選定に留意します。

● シーリング材の打継ぎの適否

後打ち 先打ち	アクリル系	ポリウレタン系	アクリルウレタン系	変成シリコン系
アクリル系	○	○	○	○
ポリウレタン系	×	○	○	○
アクリルウレタン系	×	○	○	○
変成シリコン系	×	×	×	○

○:打継ぐことができる ×:打継ぐことができない場合が多い
異種シーリング材の打継ぎがある場合、打継ぎ部分の接着に問題がありますので、上表を参考に施工順序やシーリング材の選定を行い、メーカーの仕様を確認して施工してください。

⚠ 注意：ALCパネルに使用するシーリング材は、モジュラスの低いものを使用する

- ALCパネルに使用するシーリング材は、耐久性があり経年劣化が少なく50%引張応力の値が0.3N/mm²以下のモジュラスの低いタイプを使用してください。

⚠ 注意：シーリング材表面の塗装仕上げの有無に注意する

- ALCパネルのシーリング材は、表面に仕上塗材で仕上げを行うことが一般的です。シーリング材は仕上げ材との付着性が高く、仕上塗材が汚染しにくいタイプのシーリング材を選択してください。
- 建物の外部に使用する(吹付けあり)場合は、ウレタン系以上のものを選定してください。